



第3回 作事組全国協議会・金沢大会
- 総会及び技術交流会 -
平成24年11月24日(土)・25日(日)



第3回 作事組全国協議会・金沢大会

- 総会及び技術交流会 -

作事組全国協議会の総会開催を機に全国各地から集まった、伝統的な建築技術を守り維持再生の現場にかかわる組織や職人が、具体的な技術の交流をはかる場とします。

■期日 平成24年11月24日(土)～11月25日(日)

■会場 (公社)金沢職人大学校、金沢市民芸術村

■プログラム

11月24日(土)

- 9:30～12:00 オプショナルツアー…金沢湯涌江戸村の修復現場見学
金沢職人大学校から出発 2千円/人(交通費・入場料込み)
- 12:00～12:50 受付・資料配布(金沢市民芸術村パフォーミングスクエア)
- 13:00～14:00 開会式・総会
- 14:00～14:40 金沢における町家の保存・利活用の事例報告
町家ドミトリプロジェクト、町家流通コーディネート事業など
- 15:00～17:00 分科会(参加希望により分科会を編成します)
- ①各職方別 技術交流分科会
- A. 大工+石工+瓦職人…茶室の現場説明を通じて
- B. 畳職人…畳の修繕や手床の解説などを通じて
- C. 左官職人…金沢や輪島での様々な試みを通じて
- ②町家の耐震診断と補強
- 18:30～21:00 懇親会

11月25日(日)

- 9:30～10:50 分科会報告・意見交換会
- 10:50～11:10 閉会式
- 13:00～15:00 見学ツアー(金沢市内)
現場見学ツアー2コース、庭園見学ツアー1コース(予定)

■会費 一般3千円/学生1千円(懇親会、宿泊費は別途)

■参加申し込み

LLP金澤町家事務局までE-mailまたはFaxにてお申し込みください。

E-mail: keimizunoss@gmail.com Fax: 042-683-0282

主催 作事組全国協議会、作事組全国協議会・金沢大会実行委員会

後援 金沢市、(公社)金沢職人大学校、NPO法人金澤町家研究会、LLP金澤町家
全国伝統的建造物群保存地区協議会、NPO法人全国町並み保存連盟

参加登録された方へ

第3回作事組全国協議会・金沢大会
— 総会及び技術交流会 —
追加情報のご案内と登録申請のお願い

参加申込みをいただき、ありがとうございます。いよいよ3週間後に迫ってきました。追加情報のお知らせが遅れまして申し訳ございません。以下のようにプログラム等が決まりましたのでご案内申し上げますとともに、登録シートにて返信くださいますようお願い申し上げます。

みなさまと会場でお会いでき、積極的な情報交換ができますこと、楽しみです。どうぞよろしくお願いたします。

1. 分科会 (24日 15:00~17:00)

以下の4つの分科会を開催します。詳細は別紙をご覧ください。

①-A: 大工+石工+瓦+板金 ①-B: 畳職人 ①-C: 左官職人 ②: 町家の耐震診断と補強

2. ガイドツアー

ツアーⅠ: 金沢湯涌江戸村の修復現場見学 (24日 9:30~12:00 交通費等2千円)

ツアーⅡ: 改修現場見学 (東山一带) (25日 13:00~15:00)

ツアーⅢ: 庭園見学 (大手町一带) (25日 13:00~15:00)

3. 懇親会 (24日 18:30~21:00)

町家の居酒屋 (主計町・並木町) で開催します。参加費5千円です。

4. 宿泊 (23日晚・24日晚)

下記の町家などでの宿泊を確保しております。また、前泊 (23日晚) も可能です。町家での宿泊をご希望の方は申込みをお願いします。それ以外の方は、ご自身で宿泊予約をお願いいたします。

■まちやゲストハウス

21世紀美術館のプロジェクトから生まれた会員制のゲストハウス。

住所 金沢市横山町5-2

URL <http://m-guest-house.jugem.jp/?eid=5>

料金 2,000円 (素泊まり) (浴室はありませんが、近くに銭湯があります)

■ヴィアイン金沢

NPO法人金澤町家研究会が法人会員登録しているため、下記は特別料金です。

(作事組全国協議会・金沢大会参加者と仰ってください)

住所 金沢市木ノ新保町1-1 (JR金沢駅構内で便利です)

TEL [076-222-5489](tel:076-222-5489) FAX [076-222-5485](tel:076-222-5485)

料金 シングル5,100円 ツイン5,000円/人 (朝食700円別途)

■主催 作事組全国協議会、作事組全国協議会・金沢大会実行委員会

■後援 金沢市、(公社)金沢職人大学校、NPO法人金澤町家研究会、LLP金澤町家
全国伝統的建造物群保存地区協議会、NPO法人全国町並み保存連盟

各分科会のプログラム概要

①-A 大工+石工+瓦+板金

この分科会の会場長町研修塾・匠心庵は、伝統構法に携わる職人が実際に修復した建物であり、主会場の金沢職人大学校を離れ、市内中心部の会場まで1km弱歩いて行くことになる。そこまでの道すがら、街なかに残る町家や武家地跡に建つ伝統構法の建物を見ることができる。

長町研修塾の建物（主屋）は、藩政期末から明治初期の建物を、金沢職人大学校の総合学習として長町武家屋敷群の修景に合わせて修復し、平成11年3月に竣工した。また匠心庵（茶室）も、金沢職人大学校一期生の修了成果として、主屋の修復と並行して新築したもの。

工事に携わった職人から工事内容と建物の特徴等の説明を受け、建物を素材として各地の技術的な違い等を交換する場としたい。

（分科会の終了は現地となるので、ご希望に応じて荷物を分科会会場までお届けします）

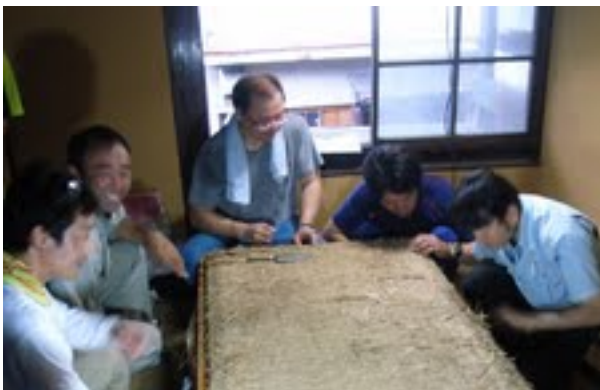


分科会会場外観（長町研修塾・匠心庵 金沢市長町1-3-7）

①-B 畳職人

畳は、修復工事においても一般的には消耗品と考えられている。表替えは決して珍しくないが、畳の芯である床（とこ）の修繕は、我々専門家の中でもそれほど普及していないのではないか。この分科会では、主に、公益社団法人金沢職人大学校によって修復された金沢市指定文化財である「ひがし茶屋休憩館」での畳工事の資料を通じて、職人自らが畳の修繕について講義する。また、床（とこ）の締め直し前と締め直し後の違いを現物で確認してもらいながら、実際に締め直しの作業も体験していただく。その他、時代を経た畳の各層が分かるように加工されたものを展示解説し、手床（てどこ）畳の構成や、修繕の履歴の読み方を学んでいただく。

修繕された畳には、手床（てどこ）のあたたかい足の感触はもちろん、何重にも編み込まれた時間の重なりが感じられる。普段はあまり注目されることのない畳の修復に触れる良い機会とする。



①-C 左官職人

土・漆喰等による左官壁は、建物様式の変化や建設工期の短縮化により乾式化が進み、仕事が減り続けてきたが、近年、自然素材のよさや、職人による手仕事の多様性や趣深さが見直され、左官仕事への関心が高まってきている。この分科会では、

- (1) 金沢の古民家における土壁破損状況および修繕事例を紹介し、小舞下地の掻き方には地方性があることから、金沢の古民家に見られる小舞を実際に掻いてみる。
- (2) 2007年に発生した能登半島地震で多くの土蔵が被災した。幾通りかの修復方法の提案を紹介しながら土蔵の修復・再生に取り組んでいる活動の様子を紹介する。



② 町家の耐震診断と補強

本分科会では、3人の専門家からの話題提供の後に意見交換を行う。

(1) 町家の構造と災害脆弱性

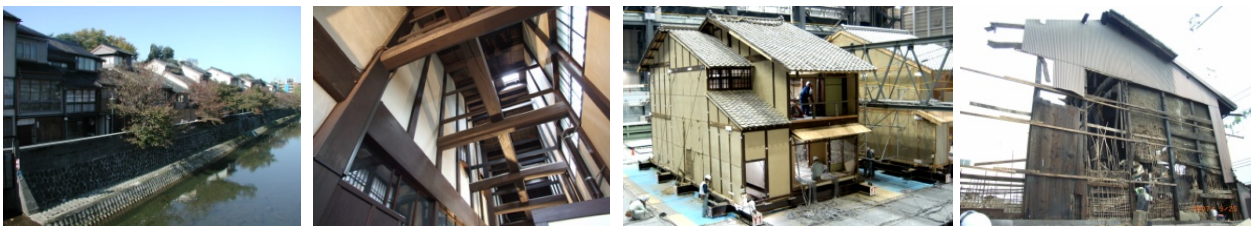
- 1) 構造的な視点から町家の特徴を紹介
- 2) 地震と火災について実験と実例に基づいて町家が抱える災害脆弱性を考える

(2) 金沢市伝統構法木造建築物耐震性向上マニュアル

- 1) 金沢の伝統構法木造建築物の現状
- 2) 金沢における伝統構法木造建築物継承の必要性
- 3) 金沢における伝統構法木造建築物の耐震性向上の必要性
- 4) 金沢の伝統構法木造建築物の実態調査
- 5) 京町家の構造特性との比較

(3) 一般建築と伝統木造の比較、新しい木構造と伝統構法との比較による伝統的木造の特徴

- 1) 木造の貫工法を鉄骨建物へ応用した設計事例
- 2) 木造門型フレーム（ラーメン構造）
- 3) 小さな木造の車庫（簡単な事例）
- 4) 伝統工法における軸組構造



第3回作事組全国協議会・金沢大会 会場案内図

